

事項	観賞用紫穂水稻品種「青系観179号」の特性		
ねらい	新たな観賞用水稻として、穂が紫色の品種を育成したので、その特性を指導上の参考に供する。		
指導 参考 内容	<p>1 主要特性の概要（「つがるロマン」対比）</p> <p>(1) 形態的特性</p> <p>ア 移植時の苗丈は並みで、葉色は淡い</p> <p>イ 生育の初期は草丈が並みかやや長く、茎数は並みで葉色はやや淡い。</p> <p>ウ 出穂直後は穎花の上部が紫色で、徐々に穎花全体が紫色となり、穂揃期から傾穂期にかけて芒と穎花が鮮やかな濃い紫色となって全体的に葉の緑色と穂の濃紫色が鮮やかなコントラストを呈し、成熟期には紫色となる。</p> <p>エ 稈長は短く、穂長は並みかやや長く、穂数は多い短稈中間型の糯種である。</p> <p>オ 稈はやや太く、稈質は並みで、耐倒伏性は「やや強」である。</p> <p>カ 粳及び玄米千粒重はやや軽い。</p> <p>(2) 生態的特性</p> <p>ア 出穂期は3日程度遅く、成熟期は4日程度遅い「中生の晩」に属する。</p> <p>イ 障害型耐冷性は「やや強」である。</p> <p>ウ いもち病真性抵抗性遺伝子は「<i>Pia</i>」を持つと推定され、圃場抵抗性は葉いもち、穂いもちともに「極強」である。</p> <p>エ 穂発芽性は「やや易」である。</p> <p>2 観賞用・景観用としての特性</p> <p>(1) 穂揃い期から傾穂期にかけて芒と穎花が鮮やかな濃い紫色となり、全体的に葉の緑色と穂の濃紫色が鮮やかなコントラストを呈する。</p> <p>(2) 穎色の見頃は、穂揃い期から成熟期頃である。</p> <p>3 栽培上の留意事項</p> <p>育苗期から出穂期までは、一般品種との識別性がないので、苗の取り違いや混植等に注意する。</p>		
期待される効果	田んぼアート等では、出穂期以降新たな図柄を出現させることが出来るため、表現・演出方法等の拡大が期待される。		
利用上の注意事項	種子の配付は、青森県産業技術センターホームページ上で、価格、配付条件等を公開し行う。		
問い合わせ先 (電話番号)	農林総合研究所 水稻品種開発部 (0172-52-4312)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成21年度 水稻新配付系統成績書 平成21年度 試験成績概要集（農林総合研究所）		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 「青系観179号」の特性一覧表

(平成18年、21年～24年 青森農林総研)

組合せ	黒紫糯1876/黒1900		
調査地	水稲品種開発部 (黒石市)		
品種名 形質	青系観179号	つがるロマン (基準)	まっしぐら (比較)
早晚性 草型	中生晩 短程 中間型	中生中 中短程 偏穂重型	中生中 短程 偏穂重型
出穂期(月・日)	8. 9	8. 6	8. 5
成熟期(月・日)	9. 24	9. 20	9. 19
稈長(cm)	76. 5	85. 9	79. 6
穂長(cm)	18. 9	18. 4	18. 0
穂数(本/㎡)	445	408	415
葉色 芒の多少 長短 粒着密度 穎色 穂揃～傾穂期 成熟期 ふ先色 脱粒性 耐倒伏性 穂発芽性 障害型耐冷性 いもち病抵抗性 推定遺伝子型 葉いもち 穂いもち	緑 極多 短 中 濃紫 紫 紫 難 やや強 やや易 やや強 <i>Pia</i> 極強 極強	緑 中 短 やや密 緑 黄白 白 難 中 やや難 やや強 <i>Pia, Pii</i> やや強 中 (やや強)	緑 少 極短～短 やや密 緑 黄白 白 難 強 難 やや強 <i>Pia, Pii</i> 強 やや強 (強)
千粒重 粳(g) 玄米(g)	24. 6 20. 8	26. 4 22. 2	27. 4 22. 4

(注) 1 いずれも標肥区 (N成分、0.6+0.2 kg/a) の結果である。

2 いもち病圃場抵抗性は、東北新基準 (平成14年3月制定) による判定。() 内は従来基準による判定。



写真1 出穂期



写真2 穂揃い期



写真3 成熟中期